**前回までのWGとヒアリングを受けて修正した主な内容について**

資料１

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 変更点 | | 意見等 | 修正内容 |
| 名称 | | 読み手にとってどんな内容かを分かりやすくしたほうが良い | 名称を「地域で高次脳機能障がい者を支えるヒント集～支援会議や市町村地域自立支援協議会等を活用して～」に変更しました。 |
| 全体構成 | | 読み手にとってどんな内容かを分かりやすくしたほうが良い | 全体的な構成の見直しをし、以下のようにしました。また、「はじめに」と「おわりに」を追記し、ヒント集の作成意図、特に伝えたい内容を明記しました。  1章：支援にあたり必要な視点と地域づくり  2章：支援会議について  3章：事例発表、事例検討型研修について  ４章：各市町村内における取組の紹介～窓口対応の工夫と社会資源活用の工夫～  ５章：高次脳機能障がいの理解を深めるための取組の紹介 |
| 個別事例検討の明確化 | | 支援会議と事例検討型研修が混在している | 支援会議、事例検討を明確にし、定義も記載しました。 |
| 第2章 | 支援会議の実際 |  | １つのケースで書く方が分かりやすいため、１つのケースを時系列に沿って記載しました。 |
| 個人情報取り扱いについて |  | 支援会議の際、個人情報の取り扱いの留意点について記載しました。 |
| 第3章 | 事例発表、事例検討型研修について |  | 事例検討型研修の意義や工夫例を追記しました。 |
| 事例発表、事例検討型研修の具体例 |  | 各圏域における取組例を記載しました。 |
| 当事者・家族の思い | 家族の思い |  | もう1名、家族の思いを追記しました。 |
| 当事者・家族の思いに対する支援者の思い | 当事者会や家族会の大切さを伝えた際に、支援者が結局「本人にしか分からないのか」と思ってしまわないように工夫してほしい | 本人・家族の思いについて、支援者として理解してもらいたい内容を、支援者のつぶやきとして記載しました。 |
| 第3章おわりに・資料編 | 地域にある資源を活かすための工夫 |  | 2章、3章の取り組みから、4章、5章への取り組みに繫げるためのツールとして、「地域課題分析シート」の紹介、ある市社会福祉協議会における職員のスキルアップのための事例検討会の取り組み紹介を記載しました。ツールは、資料編にも載せています。 |
| 資料編 | 支援の流れ | 国リハの図のように発症からの流れ等がわかるほうが良い | 国リハの流れ図を追加。1枚では文字が見えにくくなるため、文字による説明部分は別紙に分けて記載しました。  使たらええで帳の活用例として挙げている4事例は、発症から現在に至るまでの経過、関わっている機関がわかるため、掲載しました。 |